

広報 おまね



特集
7.18豪雨災害

豪雨の爪痕大きく

7月17日夕方から18日にかけて町を襲った豪雨によって、各地で土砂崩れや河川氾濫などが相次いで発生しました。現在町では、今回の豪雨による災害を乗り越えようと、全町あげて復旧に取り組んでいます。写真は豪雨直後の久保区の様子、がれきの撤去作業がおこなわれていました。（2～7Pに関連記事）

平成25年

8

No.630



特集

記録的な豪雨大江町をのみ込む 7.18 豪雨災害

7/18 月布川の氾濫により集落の一部が一時孤立した久保区

これに伴い町内を流れる最上川と月布川の水位も上昇しました。最上川では9時に中山町長崎の観測所で氾濫注意水位を超える13.4に、13時

24日の記録となりました。これは左沢における日降水量としては観測史上3位(1位は昭和51年8月6日)となり、22日の豪雨では時間当雨量で5位、(1位は平成2年7月6日)の記録となりました。

当日の降水量と河川の水位

7月18日未明、低気圧の影響を受け町内全域で雷を伴う大雨となりました。降り始めからの累加雨量が月布で209ミリの猛烈な雨を記録し、町内各地で河川や水路の氾濫による家屋や農地への浸水、道路の崩落や土砂崩れといった被害が相次ぎました。町は事態を重く見て、18日午前8時に災害対策本部を設置し、住民や消防団、山形県などの協力を得ながら道路の交通確保、孤立集落の解消、住民の避難、浸水防止などの対応にあたりました。

幸い、死者や行方不明者、重傷者など命にかかわるような人的被害はありませんでしたが、86世帯157名が避難、23棟の住宅の損壊・浸水、45路線の道路被害(7月25日現在)など非常に大きな災害となりました。22日には県と災害救助法の適用を協議し、国や県と連携しながら、全町をあげて復旧にのりだします。今月は豪雨当時の状況と被害の概要をお伝えします。

町内の累加雨量 (mm)

観測地	左沢	月布	沢口
7月18日	164	209	192
7月22日	88	98	99

各河川の水位基準 (m)

	最上川	月布川
氾濫危険水位	15.7	3.5
避難判断水位	15.3	2.3
氾濫注意水位	13.3	1.9

7月18日河川の水位 (m)

時間	5時	9時	13時	17時	19時
最上川	11.26	13.41	14.40	13.93	13.40
月布川	2.18	4.23	3.62	2.62	2.32

土砂崩れ

町内各所で土砂崩れ、路肩崩れが発生。県道や町道が一時通行止めとなり、孤立集落も発生した。



1



2



3



4



5

- 1 路肩欠所により道路が完全に寸断された町道神通峡連絡線
- 2 土砂崩れの影響で一時的通行止めになった県道大江西川線(沢口区)
- 3 小屋が土台ごと崩落した土砂崩れ現場(月布区)
- 4 土砂崩れにより小屋が倒壊(沢口区)
- 5 山形河川国道事務所の協力により通行が可能になった大頭森線(西川町大井沢)

また町の中央を走る、県道大江西川線は町民の生活に深くかかわる重要な道路です。土砂崩れで一時的通行止めになりましたが、県の協力を得

日には14.4まで上昇し、月布川では萩野の観測所で5時に氾濫注意水位を超える2.18へ、9時には氾濫危険水位を超える4.23を記録しています。

道路の被害状況

道路は救助・救援活動、広域的な緊急物資の輸送など災害時にいち早く復旧が求められます。18日は藤田堂屋敷線の土砂崩れを皮切りに、町で管理している町道の随所で土砂崩れ、路肩欠所が発生しました。

当日、町は5時30分よりパトロールなどの対応にあたり、通報を受け現場に向かい、現状を確認し、災害規模が小さいものはその場で、大規模なものは建設業者に依頼して復旧に取り組みました。

ながら随時交通の確保に務めました。18日には西川町の町道大頭森線で土砂崩れが発生し、古寺集落が一時孤立状態にありましたが、山形河川国道事務所の協力により19日の18時には交通が確保され、孤立状態は解消されました。

7月30日現在、町道の土砂崩れによる被害は26路線、47箇所、うち16路線は翌日の19日までに排土し通行を確保しています。また路肩欠所による被害は26路線48箇所、バリケードなどの設置により安全を確保した上で9路線については通行可としており、それ以外の復旧に時間を要する路線については通行止めになっています。被害の大小はありますが、この豪雨で町道全体の16.5%にあたる46路線が被災しました。

避難および家屋などの被害

18日の早朝から町内を流れる最上川、月布川の水位が上昇したため、消防団より各分団管轄の警戒および土の積みなどの対応がはじまりました。8時15分には氾濫の危険性から百目木、12区鹿子沢、萩野、久保、大久保、貫見の6地区へ避難指示が出されました。10時頃には久保橋が冠水し、一時左岸側に3世帯6人が孤立しましたが、応援に駆けつけた県警察機動隊の協力もあり無事避難することができました。避難指示では一



1



2



3



4



5



6

浸水被害

河川流域を中心に浸水被害が相次ぎ、住民は避難、消防団は終日対応に追われた

時86世帯157名が避難し、その内50名が一晩避難所で過ごしました。

豪雨が去った20、21日は住民、消防団、ボランティア団体などが協力し、被災した地区の家屋に浸入した土砂やがれきの片付けなどの対応にあたりました。

建物の被害状況は7月25日現在、月布川流域を中心に住宅の一部損壊1件、床上浸水3件、床下浸水19件、小屋などの非住家は全壊1件、床下浸水24件となっています。

上水道への影響と断水

町の上水道は「顔好橋」を境に、大きく2つのエリアに分かれています。西部地区の本郷西部・七軒方面は自己水源による旧西部簡易水道区域、東部地区の本郷東部・左沢・三郷(用地区を除く)方面は村山広域水道(県企業局が経営、以下村広水)から水を供給する旧上水道区域となっています。町内の使用水量でみると平成24年度段階で村広水が全体の93.6%を占めています。

18日、村広水が取水する寒河江川が土砂流入の影響により、濁度超過し取水を停止したことから給水停止となり、19日7時には旧上水道区域(深沢・伏熊除く)が断水。約2100世帯7200人に影響が出ました。これを受け町管工事組合の協力を得ながら、町の給水車に加え、長井市か

- 1 果樹園や畑にも土砂が流れ込む、同地区では床下浸水も発生(荻野区)
- 2 月布川が区内を蛇行して流れている貫見区。川による洗掘でポンプ庫の土台にも被害
- 3 月布川の水が堤防を越えて水田が冠水(顔好区)
- 4 家の前まで冠水した12区鹿子沢
- 5 安全な場所に避難する方々(十八才公民館)
- 6 災害時、地元の地理に詳しい消防団は頼れる存在(貫見区)

らも給水タンクを借用し広報車および給水車3台体制で対応にあたりました。村広水からの給水が再開し、断水が解除されたのは19日の18時15分でした。

自己水源による旧西部簡易水道では18日、切留の水源と第1接合井の間で地滑りによる漏水が起き、導水が不能となりました。19日未明、町管工事組合の協力を得て、町道の土砂を排除しつつ水源まで進み復旧作業に取り掛かりましたが、7時に貫見配水池の水位が低下したため、給水を受けている全域(約300世帯900名)が断水となりました。その後、作業をすすめ20日午前7時に給水を再開しました。

22日夕方からの豪雨で村広水から再び給水が停止し、22時には再度断水となりました。これを受け23日には給水車3台に加えてポリタンク積載1台、宮城県亘理町から給水車1



1



2



3



4



5

復旧への道

河川の氾濫により流れ着いた土砂や瓦礫、そして断水。復旧には町民をはじめさまざまな団体の協力が必要になります

- 1 本町出身の吉村知事は豪雨後いち早く町を訪問し、被災者の声を聞きました
- 2 宮城県亘理町から給水車が応援に駆けつける
- 3 断水を受け0歳児のいる世帯へ県から粉ミルク用飲用水が配布されました
- 4 役場内に設置されたホワイトボード。随時事象を書き込み情報を共有する
- 5 豪雨後の様子、住民が協力してがれきの片付けに当たる

このほか、柳川浄水場に土砂が入り込んだため土砂の除去作業と共に膜ろ過施設部品の交換をおこないました。**農業関係の被害**

7月24日現在、農作物関係の被害は荻野区をはじめとして水田や果樹園、畑など約17.4haが冠水しました。これに対し県と町では、冠水した作物の殺菌の指導と共に使用する薬剤の補助を検討しています。土砂については所有者の意向を踏まえながら、国の補助も考慮し対応します。

農業施設では、土地改良区が管理する幹線水路の北堰と南堰が土砂で埋まり、通水不能となっております。

台の5台体制で対応にあたり、自衛隊にも給水車の派遣要請もおこないました(翌朝に派遣は中止)。その後、村広水からの給水再開と増量が順次おこなわれ24日の16時には全町内で断水が解除されました。

また小見揚水機場のポンプが冠水し、使用できない状態となっております。稲の出穂期が迫っていることから、水を確保するため、これらを含む災害規模の大きい7箇所について応急工事を実施し、間に合うように対応していきます。

お知らせ

①町税の減免などについて
災害などにより所得が皆無となり生活が著しく困難となったため、町税などの納付ができない方や、土砂岩石の流入などにより使用不能又は作付不能となった固定資産で、2割以上が被害を受けた方について、申請により町税などが減免される場合がありますので、納期限7日前までに税務町民課へ申請又は相談してください。

また、その他の制度として納税猶予制度や所得税・町民税の雑損控除が受けられることがあります。

※お問い合わせは、税務町民課 電話(62)2119まで

②携帯電話などへの支援措置
7月22日、豪雨により災害救助法が大江町に適用されました。これにより各電話料金の支払期限の延長や電話修理代金の一部減額などを受けることができます。詳しくは、加入している各電話会社までお問い合わせください。

7・18 豪雨災害発生から一週間の動き

7月19日		7月18日	
18時15分	旧上水道区域の断水解除	1時42分	大江町に大雨洪水警報
18時00分	古寺鉾泉まで片側通行可能に	5時40分	県河川砂防課と消防団長、町で現場確認
15時30分	吉村知事来町、荻野ほか2地区を視察	6時20分	消防団各分団長へ連絡、各分団で活動開始
14時00分	山形河川国道事務所と協力し古寺まで土砂排除	8時00分	災害対策本部設置
"	断水、給水車3台を配置	8時15分	貫見、大久保、久保、荻野に避難指示
"	内約2400世帯(旧上水道区域約2100世帯、旧西部簡易水道区域約300世帯)で断水、給水車3台を配置	9時40分	百目木と12区(鹿子沢)に避難指示
7時00分	避難指示、勧告、すべて解除	9時45分	貫見区内の家屋2棟、小屋3棟に浸水
21時45分	土砂災害警戒の解除	10時00分	久保橋が冠水、左岸側に6人が孤立
19時5分	土砂災害警戒の解除	"	小清区民、地区公民館に自主避難
18時30分	大江西川線、田ノ沢より先通行止め	"	土砂により町道はじめ10路線通行止め
16時30分	荻野地区の避難指示解除	11時27分	県警機動隊、久保地区に到着
12時40分	大江西川線(巻淵)土砂除去通行可能に	11時35分	久保橋通行可、住民6人避難完了
11時53分	大江西川線(巻淵)土砂崩れで通行止め	"	



▲ 7/18 旧七軒東小学校に設置された避難所(貫見区)



▲ 7/18 集落の広範囲が冠水した久保区



▲ 7/19 寒河江川の水が濁り村山地方の広範囲で断水、町内に給水車を配置



▲ 7/18 果樹園が冠水した12区鹿子沢
◀ 7/18 消防団により土嚢が設置された(1区百目木)

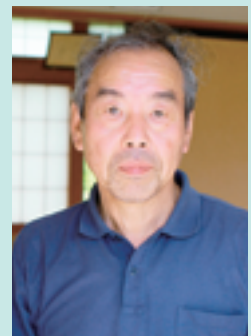


貫見区長
松田正志さん

8時15分の避難指示により全戸避難を開始しましたが、区民の中で認識に差があったので呼びかけに苦労しました。

この規模の豪雨は昭和51年の8・6水害以来です。貫見区の水量だけで見るとそれよりも多く感じられました。本当に驚いています。

今回の豪雨で日頃から防災意識を持つ重要性を改めて感じています。



久保区長
渡邊伸一さん

5時30分頃増水が気になったので高台に車を移動し様子を見ていたら、8時30分あたりからみるみる水位が上昇して久保橋が冠水し、区の北側が孤立してしまいました。

区内には月布川の氾濫によってがれきや土砂がたくさん堆積しており、一個人では対応することが難しい状況です。1人でも多く方の協力をお願いします。

7月24日	7月23日	7月22日	7月21日	7月20日
16時00分	19時20分	22時00分	13時30分	7時00分
11時30分	16時30分	20時40分	9時00分	13時00分
10時30分	12時00分	19時20分	7時00分	8時30分
〃	9時00分	〃	〃	14時30分
6時00分	8時30分	18時00分	17時12分	13時00分
〃	6時30分	18時45分	15時15分	8時30分
〃	5時30分	〃	13時30分	7時00分
〃	4時39分	17時30分	9時00分	14時30分
〃	3時50分	17時12分	7時00分	13時00分
〃	〃	15時15分	〃	8時30分
〃	〃	13時30分	〃	14時30分
〃	〃	11時30分	〃	13時00分
〃	〃	9時00分	〃	8時30分
〃	〃	7時00分	〃	7時00分

町内の断水全て解除

下北山配水池区域の断水解除

巨理町齋藤副町長来町

自衛隊派遣中止

楯山配水池区域の断水解除

宮城県巨理町より給水車が到着

町から県へ自衛隊派遣依頼

佐土橋(大井沢地内)が通行可能、古寺孤立解除

深沢・伏熊で断水

西地区公民館の自主避難者帰宅

荻野、久保避難勧告解除

断水地区に広報車と給水車3台出動

4時39分 大雨注意報と洪水注意報に切り替え

3時50分 土砂災害警戒情報解除

22時00分 災害救助法の適用を県と協議

旧上水道区域2100世帯で再び断水

20時40分 消防団2・5分団深沢に土嚢移動

19時20分 荻野3世帯、久保6世帯に避難勧告

18時45分 西地区公民館に自主避難者2世帯2名

18時00分 大江分署月布、原、葉師ヶ池へ出動

〃 橋、古寺孤立

17時30分 県道大江西川線(大井沢地内)の佐土橋落

17時12分 大雨警報(土砂災害)に切り替え

15時15分 大江町に大雨注意報発令

13時30分 消防団1・2分団久保で活動

9時00分 自動車分団久保で活動

7時00分 2013参議院選挙開始

14時30分 自動車分団貫見、2分団沢口で活動

13時00分 消防団1・3・4分団久保で活動

8時30分 NPO山形ボランティア隊6名久保で活動

7時00分 切留水源復旧、旧西部簡易水道の断水解除



復旧作業にあたるボランティア(久保区)



再び断水が発生、深夜まで給水車を配置



巨理町観光協会より義援金をいただきました



7/19 吉村美栄子知事が来町し町内各地区を訪問



▲月布川の浸水被害現場を視察(荻野区)

◀被災した住宅の状況を確認(久保区)



大江町管工事組合 金山津吉組合長

18日夜、建設水道課より切留水源から水が来ないという連絡を受け、土砂をかき分けながら夜を徹して復旧作業に当たりました。また、全町断水は初めての経験でしたので対応に苦労しました。

今回の災害では、発生した後初めて気が付くことが多くありました。事前に災害を想定しておくことの重要性を強く感じています。

7月18日早朝より連絡を受け現場に急行したところ、大変な状況だと判断し、直ちに各分団長に管轄する地域の警戒、土の積みなどの対応をおこなうよう指示を出しました。また、土日にも土砂排除などで多くの団員が出動しました。

消防団は災害発生時の迅速な対応を心がけています。引き続き何かあればすぐに対応していきます。



大江町消防団 鈴木文雄団長



■暑い夏にはとっておきの地鶏を ～第2回大江のうまいもの市～

地元のさまざまな逸品が集う第2回大江のうまいもの市が7月7日、左沢駅前広場で開催されました。

今回は地鶏フェアと題して、大江町産やまがた地鶏をはじめ、福島県の会津地鶏と伊達のハーブ鶏が参加し、やきとり、から揚げなどの地鶏メニューが販売されました。

これらの鶏はうま味やこく、脂の乗り、歯ごたえなどがそれぞれ異なるため、購入した方は3つを食べ比べながら、それぞれの鶏の魅力を発見していました。

また、大江町料理飲食業組合からは、やまがた地鶏を使用した“冷やし鶏中華”や“手羽揚げ”などもこの日限定で販売され、参加者はとっておきの地鶏メニューを楽しみながら、これからの暑い夏に向けてスタミナをつけていました。

- ◀料理飲食業組合が考案した“冷やし鶏中華”（写真左）
- ◀大きさ37cmにもなるジャンボやきとりも登場（写真右）

■日本語はおもしろいっす

～地域人権啓発活動活性化事業 ダニエル・カール講演会～

豊かな心と生活のきっかけづくりを目指す地域人権啓発活動活性化事業の一環として、7月23日、大江中学校校体育館を会場にダニエル・カール氏を招いての講演会が開催されました。

講演では婉曲、謙遜などアメリカ出身の彼の目から見た、日本独特のコミュニケーションのとり方とその奥の深さ、魅力を紹介しました。

ダニエルさんは「移民の国アメリカでは、さまざまな習慣や言語が使われているので、シンプルに分かりやすく相手に伝えることが大事だと考えられています。日本はそれとは逆に相手のことを考えて、婉曲、謙遜などの表現を使い率直に言わない優しさがあります。私は、これこそが日本ならではの奥ゆかしさ、面白さだと思います。みなさんも日頃話している日本語のおもしろいところに気が付いたら、話し合ってみてはいかがでしょうか」と日本語の魅力を熱く語りてくれました。



輝いて 今

様々な分野で活躍され、表彰された町民の方々に紹介します。

寺嶋 則幸さん（6区）
菊地 邦治さん（深沢）

大江町スポーツ推進委員で10年間にわたり地域のスポーツの普及、振興に尽力された方2名が、山形県スポーツ推進委員協議会表彰を受賞しました。

6年女子100m優勝（記録13秒82）

岡田 悠さん（螢水）

7月15日に開催された、全国小学生陸上競技交流大会山形県予選会の6年女子100m競技において、左沢小学校6年生の岡田悠さん（螢水）が見事1位に輝きました。今後は8月23・24日に神奈川県で開かれる全国大会に出場する予定です。

バンビ男子シングルス

（小学2年生以下）

佐竹 藍人くん（小漆川区）

7月26日から28日まで兵庫県で開催された、平成25年度全日本卓球選手権大会のバンビ男子シングルス（小学2年生以下）競技に左沢小学校1年生の佐竹藍人くんが出場しました。



■おいしい漬物で女子力アップ↑~女子力アップ講座開講式~

食、心、体などに関するさまざまな講座をとおして、女性としての魅力向上を図る女子力アップ講座が7月23日、中央公民館でおこなわれました。

この講座は今年で3年目を迎え、内容はこれまでの参加者から希望をとり決定されます。今年第1回目となった今回は、トマト、きゅうりなどの夏野菜を使った漬物講座がおこなわれ、会場には定員を大幅に超える37名の方が参加しました。

漬物は漬け方次第で生野菜の青臭さやえぐみがなくなり、独特のうまみ成分やヨーグルトに負けない乳酸菌が増えるため、美容健康に最適な逸品です。講師の新関さとみ氏は「下漬中の空気抜きや水気切りなど、漬物はちょっとしたコツさえ覚えれば誰でもおいしく作れます。きゅうりやトマトは旬になるとドンドン実がなるので是非試してみてください」と話してくれました。



■らあなちゃん誕生!!~食育推進事業~

子どもから大人までみんなで食といのちについて考えてもらおうと、大江町食育推進マスコットキャラクター“大江らあな”ちゃんが誕生しました。

デザインは東北芸術工科大学の学生の皆さんから寄せられた作品の中から決定。町の特産が随所に盛り込まれた愛らしいキャラクターに仕上がりました。名前は町内小中学校の子どもたちから募集されました。“らあな”はラフランス、あじさい、くろべえナスの各1文字からつけられています。

らあなちゃんの夢は「大江町の皆さんに元気のじゅもんを覚えてもらい、大江町を元気にすることです」ごはんをしっかりと食べて、みんなで元気のじゅもんを実践してみよう。



元気のじゅもん
らあなちゃん

- おはようスイッチ、朝ごはん食べよう!
- おなかスッキリ、トイレに行こう!
- えいようバッチリ、運動しよう!
- まいにちニコニコ、家族で語ろう!
- ちようしグングン、ぐっすり眠ろう!



青柳敬子さん
(9区)

◆高齢者交通安全指導員/老人クラブ未加入者など交通安全活動の場に参加する機会が少ない高齢者を個別に訪問し、高齢者の事故防止活動をおこなっています。



鈴木昭三郎さん
(下北山)



菊地勝也さん
(深沢)

山形県警察本部長より次の3名の方々が委嘱を受け、町内の交通事故防止のために活躍いただいておりますのでご紹介いたします。

◆地域交通安全活動推進委員/地域の代表として交通安全の教育や広報啓発活動をおこなっています。

地域交通安全活動推進委員、高齢者交通安全指導員をご紹介します

6/30 故郷に思いを馳せて

～東京おおえ会総会～

東京おおえ会の総会が6月30日、東京都台東区のグリーンパークを会場に約90名の参加でおこなわれました。

この会は、東京に住む大江町出身者の融和と親睦を図ることを目的に活動しており、今年度は会員同士の交流会のほか、大江町への親睦ツアーを予定しています。

鈴木五郎会長(沢口出身)は「大江町から離れても町への気持ちは変わりません。親睦ツアーのように会員が年1回でも大江町を訪問できれば町にも良い影響があると思います。町とのつながりを密にして、故郷がより良くなるような活動に取り組んでいきたいです」と町への想いを話してくれました。

会では随時会員を募集しております。東京にお住まいのご家族、ご友人などがおりましたら、ぜひ、入会をお勧めください。

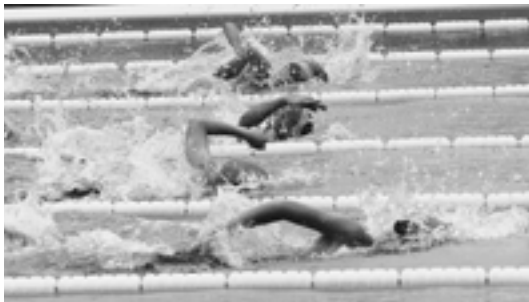
※お問い合わせは、東京おおえ会事務局 ☎03-3693-2383まで



▲総会の様子



鈴木五郎会長▶



7/10 記録を狙い元気に泳ぐ

～大江町小学校水泳競技大会～

第33回大江町小学校水泳競技大会が7月10日、町民プールを会場におこなわれました。

大会当日は、小雨が降るあいにくの天気となりましたが、参加した5・6年生の児童は記録を狙い、勢いよくプールに飛び込んでいました。またプールサイドでは大勢の保護者が応援に駆け付け、大きな声援を送っていました。

《競技結果》各種目優勝者のみ



- ★50メートル自由形
 - 6年男子/高橋快斗(本東) 39秒4
 - 6年女子/林陽歩(左沢) 35秒7
 - 5年男子/庄司楓基(左沢) 38秒6
 - 5年女子/櫻井めい(左沢) 36秒3
- ★50メートル平泳ぎ
 - 6年男子/大沼永樹(左沢) 48秒4
 - 6年女子/松田夏奈(左沢) 52秒5
 - 5年男子/鎌上誠也(左沢) 52秒9
 - 5年女子/菊地優晴(本東) 53秒5
- ★50メートル背泳ぎ
 - 6年男子/高橋快斗(本東) 55秒4
 - 6年女子/工藤夢叶(本東) 38秒7※
 - 5年男子/大井奏潤(左沢) 57秒7
 - 5年女子/松田衣吹(本東) 55秒7
- ★50メートルバタフライ
 - 6年男子/柏倉薫(本東) 49秒1
 - 6年女子/武田なつほ(左沢) 1分0秒6
 - 5年男子/庄司楓基(左沢) 1分2秒4
 - 5年女子/櫻井めい(左沢) 43秒6
- ★100メートル自由形
 - 6年男子/海野隼斗(左沢) 1分39秒9
 - 6年女子/林茜(左沢) 1分40秒2
- ★100メートル平泳ぎ
 - 6年男子/大沼永樹(左沢) 1分50秒2
 - 6年女子/松田夏奈(左沢) 2分0秒7
- ★100メートル背泳ぎ
 - 6年男子/公平直希(左沢) 2分11秒8
 - 6年女子/工藤夢叶(本東) 1分26秒1※
- ★200メートル個人メドレー
 - 6年男子/菊地佑樹(左沢) 4分32秒4
- ★200メートルドレーリレー
 - 男子/本東小6年3分31秒1
 - 女子/左沢小6年1組3分18秒7
- ★200メートルリレー
 - 男子/本東小6年2分49秒2
 - 女子/左沢小6年2組2分47秒9

※大会新記録

7/6 夏だ〜♪ワッショイ!!ワッショイ!!

〜わかば保育園七夕夏まつり交流会〜

七夕行事や縁日屋台の雰囲気親子で楽しめる七夕夏まつり交流会が、7月6日、わかば保育園で開催されました。

交流会では始めに元気太鼓と手作り子ども神輿が披露され、園児たちは太鼓の演奏に合わせて「わっしょい!わっしょい!」と元気な掛け声で交流会を盛り上げました。また、親子で願い事を書いた短冊を作成し、用意された竹につける七夕飾りでは「サッカー選手になりたい」「三輪車がうまく乗れますように」など園児たちの願い事で笹竹がいっぱいになりました。

その他、七夕に関する映画の上映やアイスクリーム、魚釣りなどを楽しめる「縁日ごっこ」がおこなわれ、園児たちはお父さんお母さんと楽しい時間を過ごしました。



7/13 森の香り、その奥深さを堪能

〜香りの里山トレッキング&アロマ蒸留ワークショップ〜

リラックス効果や免疫力の向上など、さまざまな効果があるといわれる「森の香り」。その魅力を体験してもらおうと7月13日、大頭森を会場にワークショップが開催されました。

当日は、森の案内人白壁洋子さん案内のもと地域おこし協力隊の石坂康平さんもスタッフとして加わり、大頭森を散策しながら、クロモジをはじめ山道上に自生する植物の、五感を使った楽しみ方を学びました。

散策後には、採ってきたクロモジを使用したアロマオイル作りもおこなわれ、参加者は協力してクロモジの葉を細かく千切りし蒸留器でオイルの抽出をおこないました。完成したアロマオイルによって、会場は夏山を思わせる清々しい香りに包まれていました。

主催した山業ビジネス&プロジェクトの庄司樹さんは「ワークショップを通じて山には香りがいいものがたくさんあることを知っていただけたと思います。これを機会に香りという側面からも山に魅力を感じてもらえたらうれしいです」と話してくれました。

- ①白壁洋子さんの案内のもと五感を使い大頭森を散策
- ②散策しながら原料となるクロモジを採取
- ③クロモジの葉からアロマオイルを蒸留

7/14 久しぶりの清掃、住民、消防団が協力し

〜左沢市街地一斉清掃〜

左沢地区内の側溝にたまる土砂などを取り除こうと7月14日、地域住民と消防団が中心となって一斉清掃がおこなわれました。

一斉清掃がおこなわれるのは5年ぶりで、通常3年毎におこなわれていますが、一昨年の東日本大震災の影響により延期されていました。

当日は住民の皆さんがスコップで手際よく泥を回収して、消防団の放水で側溝を流していました。参加した住民の方は「大変でもみんなが使っている側溝なのでしっかり掃除しないと」「消防団の協力で思ったより早く終わりました」と話してくれました。



◆わだいの交差点に掲載できなかった情報の一部は、町ホームページの「フォトおうえん」に写真を掲載していますのでご覧ください

町長 コラム Column

雨が怖いと思った。1週間に2度も記録的な豪雨、月布川、最上川が泥水で大暴れ、小川や用水路、道路の上まで、家の足元をも濁流が襲った。月布川沿いのお年寄りの話では、昭和51年8月6日の8・6水害よりもひどいという。沢をえぐり、山を削った泥水は、水道を直撃し長時間断水を招いて「命の水も切れることとなった。被災され、ご難儀を受けられた各位には、心からのお見舞いとお詫びを申し上げます。地球よ、人間にももう少し優しくしていただけないか。人間があまりにも地球をいじめ、苦しみを与えてきたから、悲鳴を上げて異常気象どころか明らかな気候変化を定着させてしまったのではないか。不気味な不安ささえよぎる、大雨、砂漠化、大雪、地震、竜巻、異常な気温、南の島では海水が盛り上がり島が沈んでゆく…。地球と人間の友達関係、人間のほうで生き方を問い、新しい生き方の発明が必要で「地球に優しい生き方」という識者の言葉に思いを寄せたい。

吉村知事が、すぐに被災の現地にお越しになった。県の関係各位の迅速な対応には「あたたかい県政」の心を感じた。宮城県亘理町からは、ボランティアの申し出があった。給水車の手配もしていただいた。まだまだ完全な復旧に至っていないのに、困っている方々に手を差し延べる亘理町のご厚意に、勇気と元気をいただいた。長井市からは給水車をお借りした。多くの方々から助けの力をいただいた。町民同士の昼夜をいとわぬ助け合いの現場も目の当たりにして、この町はすばらしい町だと誇らしく思えた。急場を乗り切れたのは、多くの方々のお力添えのおかげです。本当にありがとうございます。

家屋、道路、農地、用水路、作物…被害が甚大で、復旧には多くの時間を要しますが、関係機関のご協力をいただき、優先順位を確認しながら復旧を着実に進めてまいります。町民各位のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

大江町長 渡邊 兵吾

左澤重要文化的景観

シリーズ企画 町の魅力発見! vol.04

最上川は置賜の吾妻山地の源流とし、県内約230kmにわたって流れ、酒田から日本海へと流れ出ます。一つの都府県のみを流域とする河川としては国内最長で、日本を代表する河川のうち、特に流れの速いとされる日本三大急流の一つにも数えられています。

江戸時代元禄の頃、米沢藩の御用商人が最上川上流まで舟運航路整備しました。複数存在する最上川流域の川港や舟着き場のなかでも、置賜地方から続く五百川峡谷の出口に位置したのが左沢の川港でした。そのため、左沢から米沢までの上流部は小鞆飼舟（米20～30俵積載）、左沢から酒田までの下流部は鱒舟（米200～250俵積載）にと積み替えをする重要な中継地点になり、これに併せ左沢はさまざまな物資が行きかう商業の街として発展していきました。

旧最上橋たもとの桜町渡船場から月布川合流地点周辺に左沢船着き場があり、旧最上橋付近には米沢藩舟屋敷が置かれ、敷地内には舟陣屋、米蔵、塩蔵などが建てられていました。寛政3年(1791年)の記録によると舟屋敷には年間3万俵もの米が入ってきたそうです。

最上川



▲米沢藩陣屋絵図（海野家所蔵）

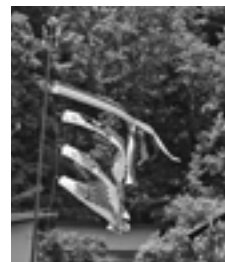
ALT通信 マットの おおえ生活 No.31

★このコーナーでは、小見在住のALT（外国語指導助手）マットさんが、日常生活で感じたことなどを伝えます。

I hope the heavy rains and water shortage did not break your spirits. One thing I've learned in my four years here in Ohe is that the citizens of Ohe are built tough. I often think that no matter what the disaster, the town of Ohe's recovery is already decided. Unfortunately, I've also started to worry that maybe I'm not as resilient. In Montana there are not many natural disasters, so it is hard for me to get accustomed to all the commotion. My mother is also worried. She likes to watch the news about Japan and whenever there is even the slightest bad news, she calls me and email me every ten minutes to make sure I'm alive. Lately I've realized that living abroad is harder than I had thought. I'm amazed by the resilience of the citizens of Ohe. Keep up the great work.

皆さん今回の大雨や断水などで大変お疲れのことと思います。私は4年間大江町に住んだ経験から町民の皆さんが強いことが分かってきました。そしてどんな災害でも乗り越えられるだろうと思います。残念ながら、自分がそんなに丈夫に育っていないかなと心配してきました。モンタナではあまり災害がありませんので、マットは災害になかなか慣れません。モンタナの母もアメリカで日本についてのニュースを見ながら、マットの安全確認の電子メールや国際電話などが10分ごとにきます。こういう時、海外に住むことの難しさを感じてしまいます。本当に大江町民の皆さんの強さに感動します。お疲れ様です。

マットさんが町に初めて来た時に撮影した写真。鯉のぼりの泳ぐ姿を見ていると元気がでるそうです▶



思い出に残る成人式に

菊地 真由美さん (20歳・5区)

「今の高校生の本事情を知ることができの楽しいですね。生徒と年齢が近いので、生徒の方から話しかけてくれたり、相談を受けることもあります」と話す菊地さん、現在は県立長井工業高等学校の学校司書をしています。

高校時代に図書館で本を管理している司書の姿に憧れ、高校卒業後は米沢女子短期大学に進学し、司書の資格を取得したそうです。趣味はやはり読書で、集中している時は1日に2、3冊読むそうです。特にお気に入りの本はメディアの自由を巡る人々の戦いを描く、有川浩さん作の「図書館戦争」とのこと。

今年の成人式実行委員会の代表にもなっている菊地さん「久しぶりにみんな集まるので、思い出に残る成人式にしたいですし、誰でも気兼ねなくワイワイ楽しめる内容にしたいですね」と成人式に向けて意気込みを語ってくれました。



YOUTHFUL
トーク

● 短歌 ●

満載に牛積みし車過ぎるとき牛飼いの日々を思い馳せたり
 教職を終え仏道に帰依し弟の法衣に亡父と思い重ねし
 庭なかの窓に映りし紫陽花の雨に濡れなお鮮やかさ増し
 七色の紫陽花ようやく咲き初めて灌水役はわれの当番
 ひさかたの雨に打たれし紫陽花の生き生きしたる元気をもらう
 春雨や山芍薬はひっそりと一重姿の命みじかし
 舟唄に酔ひしれひと日の幸せにいにしえ人を偲ぶ日となり
 チクタクと障子戸越しの古時計古希を迎える時を刻みぬ

菊地つねよ
 菅井 妙子
 堀 トヨエ
 佐竹 麗子
 長岡かづ子
 佐竹 與鼓
 伊藤 和子
 清野 伝蔵

● 俳句 ●

梅雨晴れや映る景観二重橋
 万緑の中に一株の濃紫陽花
 ノシャップふるえる寒さや夏の月
 紫陽花を一輪飾りし朝の仏
 客去りて仏間の灯り涼新た
 開け放つ窓の風鈴かるやかに
 色褪せし提灯ともる盆の宵
 新涼やサプリメントは一つづつ
 覚めきらぬ昼寝の顔に宅急便
 青胡桃風に逆らふ一枝かな

林 忠逸
 菅井 妙子
 今井 茂樹
 鴨田富士夫
 金子脩一郎
 安藤由美子
 秋元喜一郎
 熊谷 勉
 舟山 三男
 伊藤 啓泉

吟遊浪漫
 ぎんゆうろまん

このコーナーに掲載ご希望の方は、毎月20日（必着）まで役場総務課に作品をお寄せください。

お知らせ

Information

平成25年度大江町交通安全町民大会の開催

町民一人ひとりが交通安全を誓い、『明るく豊かな大江町』『安全で安心な大江町』を実現し、交通事故防止の意識高揚と飲酒運転の撲滅を図るため本大会を開催します。

◆日時／9月1日(日)9時30分

◆場所／町民ふれあい会館

◆大会内容／

①山形県警察音楽隊による演奏：曲名・夢をかなえてドラえもん・カモン・くんの交通安全マーチなど

②かもしかクラブ(幼児交通安全教室)：県警察音楽隊による生演奏で、

園児たちが一緒に交通安全マーチを披露します。(参加協力：大江幼稚園・あゆみこども園・さくら保育園・わかば保育園・山形県警察音楽隊・寒河江警察署大江交番)

③交通安全落語&レインボー体操協力団体・JA共済

※お問い合わせは、大江町交通安全対策協議会事務局(総務課危機管理係内)☎(62)2187まで

JR左沢線にSLが走ります

9月7日、8日JR左沢線でSLが運行されます。また、このSL運行を記念してJR左沢駅前にて特産品の販売などの歓迎イベントも実施します。ぜひ、お越しください。

なお、9月3日～5日も同じ時刻に試運転がおこなわれます。踏切や線路内への立入などは大変危険ですのでおこなわないようにしてください。また、沿線の方は洗濯物の取り扱いにご注意ください。

◆運行時刻／

下り：山形駅発10時45分～左沢駅着12時12分

上り：左沢駅発14時55分～山形駅着16時00分

【一日駅長大募集】

SL運行を記念して、一日駅長を募集します。あなたの出発進行という合図で、SLを走らせてみませんか。皆さんの申し込みをお待ちしています。なお、応募多数の場合、抽選とさせていただきます。

◆募集対象／小中学生

◆申込方法／官製はがきに一日駅長希望と明記し、住所、氏名、学年、

保護者名、電話番号、一日駅長希望日(9月7日または8日)を記入し

善意いただきました



大江ライオンズクラブ(鴨田洋悦会長)より「志田周子の生涯を銀幕に甦らせる会」の活動に賛同している町に対して、6月28日、映画製作費に役立ててほしいと5万円の寄託がありました。

甦らせる会は大江町(旧左沢町)生まれで西川町大井沢の地域医療に生涯をささげた医師志田周子をモデルにした映画作りを目指しており、渡邊町長も同会の顧問に就任しています。いただいた寄託金は後日町から甦らせる会お届けすることとしています。

てください

◆申込先／大江町観光物産協会(大江町左沢882の1)

◆申込締切／8月23日(金)必着

◆決定通知／決定者のみ通知

※お問い合わせは、SL運行についてはJR左沢線営業所☎(86)286

1、歓迎イベントについては大江町観光物産協会(政策推進課内)☎(62)2139まで

「農地パトロール」に伴う調査員の立ち入りについて

今年度も「農地パトロール(利用状況調査)」をおこないます。調査に際し、調査員が所有地に立ち入る場合がありますので、ご理解とご協力をお願いします。

◆調査期間／8月～10月

◆調査員／農業委員・農用地利用改善組合員・町職員他

善組合員・町職員他

◆内容／農地の利用状況調査、指導

※お問い合わせは、農業委員会事務局☎(62)2868まで

平成25年度第1回西村山地域福祉有償運送運営協議会を開催します

西村山地域における特定非営利活動法人などによる有償のボランティア輸送について、その必要性や安全性の確保などについて協議する今年度の第1回協議会を次のとおり開催します。

◆日時／8月30日(金)13時30分～

◆場所／大江町役場大会議室

◆議題／登録団体における状況報告について

◆傍聴について／定員5人(定員を超えた場合は先着順)

◆傍聴の手続き／13時から受付開始

～特別警報がはじまります～

気象庁はこれまで、大雨や大雪、津波などにより重大な災害が起こる恐れがある時に、警報を発表して警戒を呼びかけてきました。しかし、平成23年の東日本大震災や新潟・福島2県に甚大な被害をもたらした「平成23年7月新潟・福島豪雨」など、警報の発表基準をはるかに超え、重大な災害の危険性が著しく高まることが予想されても、その緊急性を明確に伝える手段がありませんでした。

こうした中、気象庁では、数十年に一度しか起こらないような災害の危険性が高まった場合に、これまでの警報よりも緊急性の高い「特別警報」を8月30日(予定)から発表することになります。この特別警報が発表された場合は、重大な災害が起こることを想定し、直ちに命を守る行動に努めてください。

気象警報等発表時における町および住民の対応例

町の対応	住民の行動	気象警報の種類				
		大 雨		暴 風	地 震	大 雪
		土砂災害	浸水害			
<ul style="list-style-type: none"> 担当職員の連絡態勢確立 気象情報や雨量の状況を収集 注意の呼びかけ 警戒すべき区域の巡回 	<ul style="list-style-type: none"> 気象情報に気を付ける テレビ、ラジオ、気象庁HPなどから最新の気象情報入手 窓や雨戸など家の点検 避難場所の確認 非常持出品の点検 	大雨 注意報		強風 注意報	緊急地震速報(予報)	大雪 注意報
<ul style="list-style-type: none"> 警報の住民への周知 避難場所の準備、開設 必要地域に避難準備(要援護者避難)情報 必要地域に避難勧告・指示 避難の呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> 避難の準備をする 危険な場所に近づかない 日頃と異なったことがあれば、町などへ通報 暴風警報については、安全な場所に避難 	大雨 警報(土砂災害)	大雨 警報(浸水害)	暴風 警報	緊急地震速報(警報)	大雪 警報
<ul style="list-style-type: none"> 特別警報の住民への周知 安全確保の呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> 直ちに命を守る行動をとる(避難場所へ避難するか、外出することが危険な場合は家の中で安全な場所にとどまる) 	大雨 特別警報(土砂災害)	大雨 特別警報(浸水害)	暴風 特別警報	緊急地震速報(警報)※名称に変更なし、震度6弱以上	大雪 特別警報

※網掛け部分が今回追加される特別警報の対応例になります。
 ※お問い合わせは、山形地方気象台防災業務課 ☎ 023-622-0632 まで



7月18日、記録的な豪雨により、瞬間にフル稼働状態になりました。今回の豪雨で改めて気づいたことは、災害は広範囲かつ同時に発生するという事です。その中で地区の区長さんを中心とした避難や消防団の活動など住民の皆さんからの協力は非常に心強かったです。団員の中には8月4日の消防操法大会に向けて毎日訓練を重ねている中で協力していた方、お聞きした方もいたと聞きまして、この場を借りて御礼申し上げます。(山家雄志)

7月18日、記録的な豪雨により、瞬間にフル稼働状態になりました。今回の豪雨で改めて気づいたことは、災害は広範囲かつ同時に発生するという事です。その中で地区の区長さんを中心とした避難や消防団の活動など住民の皆さんからの協力は非常に心強かったです。団員の中には8月4日の消防操法大会に向けて毎日訓練を重ねている中で協力していた方、お聞きした方もいたと聞きまして、この場を借りて御礼申し上げます。(山家雄志)

※お問い合わせは、健康福祉課福祉係 ☎ (62)2285まで

職員人事異動のお知らせ

8月1日付で職員の人事異動がおこなわれましたのでお知らせします。

【農林課】
 事業主査(災害復旧担当) 林 善美(農林課)
 農政主査兼農政係長 阿部美代子(税務町民課)

【建設水道課】
 主任 金山 拓(総務課)
 技師補 秋葉 貴史(建設水道課)



つる細工教室 鈴木敏子

リレー随想／ 《第74回》

我が先祖を思う

我が家の初代の生家は庄内鶴岡七日町(現在の鶴岡市本町三丁目)の最上問屋阿部嘉右衛門という家である。そこで最上(村山地方)から来る荷物の問屋や宿場を開いていたようである。また、七日町は越後・山形方面への始発点に位置していた。

40年ほど前の話であるが、母が鶴岡の「初代の生家」に行ってみたものだ」と話した。しかし約230年

も前のことなので、現在もその場所に居住しているものか疑問であった。そこで鶴岡市役所にその事を手紙で聞いてみると、二週間位たった頃に返事がきた。色々調査したが鶴岡には居住している形跡がないというのが答えだった。何代にもわたって同じところで生活するという事は並大抵ではないと、その時強く感じた。

栄枯盛衰は世の習いである。何らかの事情でその地を後にしたのではないかと推察することができたが、母の落胆は大きいものだった。しかし又いつか朗報があるだろうからと慰めた。それから15年位経過した頃であろうか。店に庄内弁のご夫婦が買い物にきてくれた。私は不思議と縁を感じ「大変失礼ですがどちらからお越しになつたのですか」と尋ねた。すると鶴岡市という言葉が出てきた。私は事情を話し母屋の方へ案内した。そして初代生家のことを尋ねると「知っているが今はこの鶴岡にはいない」という回答が返ってきた。その方は当時鶴岡市立図書館・鶴岡郷土資料館に勤務されており歴史研究会の方だった。そしてお二人は私の家の先祖にお参りしたい

とのことで、蔵の仏壇に案内した。その時、たまたま蔵の中で米沢藩の絵師小田切寒松軒筆の花鳥図六曲一双の屏風を虫干ししていたが、お二人はそれを熱心に鑑賞していた。それから4、5日して文政12年(1828年)の鶴岡城下絵図と最上問屋阿部嘉右衛門家の場所を記した天保10年(1838年)の七日町絵図が送られてきた。

母に見せたところ非常に喜んでる様子だった。そしてその夜、家の仏壇の前で大本家とも言うべき最上問屋阿部嘉右衛門家の末裔の方々の無事を祈ってお参りをした。その後鶴岡の歴史民俗資料館研究会の方々には2回ほど家を訪問していただいた。私は思わぬ奇縁に心を打たれたものである。

母が他界してから10年近くが経とうとしている。私も古希を迎えてから数年の時が流れた。振り返ってみるとさまざまなことに遭遇した。しかし今では総てが懐かしい思い出となつて蘇ってくる。母は生前、毎朝仏壇にお経を唱えお参りをしていた。私も母のように毎朝先祖に感謝し手を合わせている今日この頃である。

(11区 岡田 文治)

人口と世帯(前月比)

町の人口	9,046人(+37)
男	4,440人(+6)
女	4,606人(+31)
世帯数	2,919戸(+9)

平成25年8月1日現在

※住民基本台帳法が改正され今月号からは外国人住民の方も含めた人口を記載します。

戸籍の まど

6月21日～7月20日受付分

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
若原	鈴木 京	女	博樹・恵美
藤田	高橋 凜	女	宏佳・真澄
山崎	佐藤 妃	女	修平・麻衣
藤田	相澤 麻	男	亜里・みゆき
藤田	鈴木 千	女	聡・早苗
望山	林 蘭	男	睦・真矢

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
9区	小野キクエ	(87)
12区	伊藤たかえ	(79)
富沢	柏倉 茂雄	(81)
月が丘	鈴木 洋子	(53)
藤田	浅井 喜作	(93)
若原	渡辺 喜昭	(70)
藤田	齊藤 秀代	(94)
深沢	菊地 ちよゑ	(78)
4区	笹原 正井	(84)
月布	大泉 なつ	(81)



※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。